

がん化学療法レジメン登録票

レジメン名	PH FDC SC(乳がん)
診療科名	乳腺科
診療科責任者名	福岡 英佑
適応がん種	HER2陽性の乳癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	BR-84
登録日・更新日	2023/12/26
削除日	
出典	N Engl J Med 2017; 377:122-131
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

初回

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ベルツズマブ(遺伝子組換え)/ トラスツズマブ(遺伝子組換え)/ボルヒア ルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) (フェスコ配合皮下注IN)	IN: 1200mg/600mg/30000単位	1200mg/body 600mg/body 30000単位/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(皮下)	8分以上	day1

2回目以降

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ベルツズマブ(遺伝子組換え)/ トラスツズマブ(遺伝子組換え)/ボルヒア ルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) (フェスコ配合皮下注MA)	MA: 600mg/600mg/20000単位	600mg/body 600mg/body 20000単位/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(皮下)	5分以上	day1

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	-
計算後の投与量下限値	-

減量・中止基準	併用する化学療法の基準に準じる 【中止基準】 ・EF <55%
前投薬	不要(併用する化学療法の前投薬に準じる)
その他の注意事項	<p>※投与量算出式(2回目以降の場合)</p> <p>前回投与日から6週間未満のとき → 維持投与量(ベルツズマブ600mg/トラスツズマブ600mg/ボルヒアルロニダーゼ アルファ20000U)を投与する。</p> <p>前回投与日から6週間以上のとき → 改めて初回投与量(ベルツズマブ1200mg/トラスツズマブ600mg/ボルヒアルロニダーゼ アルファ30000U)を投与し、次回以降は維持投与量(ベルツズマブ600mg/トラスツズマブ600mg/ボルヒアルロニダーゼ アルファ20000U)を3週間間隔で投与する。</p> <p>・切り替え用量について パージェタ+ハーセプチン(IV)→フェスコ 直近の投与日から6週間未満のときにはフェスコのMA(維持投与量)を、6週間以上のときにはフェスコのIN(初回投与量)を投与し、その後は3週間毎にMA(維持投与量)を投与。 フェスコ→パージェタ+ハーセプチン(IV) フェスコの直近の投与日から6週間未満のときにはパージェタ、ハーセプチンともに維持投与量(パージェタ: 420mg、ハーセプチン: 6mg/kg)を、6週間以上のときにはパージェタ、ハーセプチンともに初回投与量(パージェタ: 840mg、ハーセプチン: 8mg/kg)を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与。</p> <p>・減量投与は不可。(FeDeriCa試験において、フェスコの減量はプロトコールで許容されておらず、フェスコを減量して投与したデータが存在しないため。)</p> <p>・初回導入時は投与前、4ヵ月後、8ヵ月後に心エコーにてEFをチェックする。再導入時は2コース毎に心エコーにてEFをチェックする。</p> <p>・大腿部に皮下投与すること。注射部位反応が起こる可能性があるため、同一部位への投与は避ける。</p> <p>・術前・術後薬物療法の場合には、投与期間は12ヵ月までとする。</p>

記入者	伊勢崎竜也
確認者	梨本 実花